

JC NEWS

新春号

vol. 807

JCI.Nagasaki
2026.1.10

理事長新年のご挨拶
OB会会長新年のご挨拶
理事役員挨拶
出向者紹介
第73年度卒業式及び卒業生を送る夕べ
2026年度神戸JC・長崎JC定例会議

Contents

- 02 理事長新年のご挨拶
- 04 OB会会長新年のご挨拶
- 05 理事役員挨拶
- 12 出向者紹介
- 16 第73年度卒業式及び卒業生を送る夕べ
- 19 2026年度神戸JC・長崎JC定例会議





一般社団法人 長崎青年会議所
第74年度 理事長

寺澤 孝憲



新年のご挨拶

President's Message

本気で挑み現実にする

新年あけましておめでとうございます。現役会員の皆様、そして長きにわたり長崎青年会議所を支えてこられた卒業生の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

本年度、私達はスローガンに『大ぼらを夢に 夢を現実に』を掲げ、新たな一年をスタート致しました。このスローガンは私自身が叶えたい大きな嘘のような夢を実現させる一年にしたい！ということではありません。嘘みたいな夢を語り、その夢を現

実のものへと変えていける。そんな人財に一人ひとりがなる一年にしたいという想いを込めさせていただきました。「大ぼら」とは、単なる誇張や理想論ではありません。誰かに笑われるような嘘のような大きな夢を語り、その夢を現実のものにするべく本気で挑み続ける人財になろうという覚悟の象徴です。青年会議所の歴史、青年会議所が輩出した先輩諸氏のこれまでの歩みはまさにその体現であったと思います。時代の先を読み、地域の未来を信じ、まだ形のない理想を現実へと引き寄せてきた先輩諸氏の挑戦が今の長崎を築いてきました。



しかし、私達を取り巻く環境は決して楽観できるものではありません。人口減少、担い手不足、高齢化、価値観の多様化など、地域社会は待ったなしの転換点に立っています。だからこそ今、青年経済人である私達には、現状を嘆くのではなく、未来を構想し、行動によって示す責任があります。

私達がやる理由

会員一人ひとりに改めて「なぜJCに入ったのか」「JCで何をしたいのか」を問い直し、自己成長と地域貢献を両立できる運動を展開して参ります。長崎を担う人材を育てること、そして長崎

JCそのものが次代の希望となること。その覚悟をもって、一つひとつの事業に向き合って参ります。

卒業生の皆様が築いてこられた誇りある歴史と、現役会員の情熱が重なったとき、どんな「大ばら」も現実になると信じています。まだまだ未熟な私達ですが、本年も変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとつて実り多き一年となりますこと、そして長崎青年会議所が地域にとってなくてはならない存在であり続けることを祈念し、新年のご挨拶と致します。

OB会会長 新年のご挨拶

長崎青年会議所OB会長
殿村 育生 先輩

謹んで新春のお慶びを申し上げます。丙午（ひのえ・うま）年を迎えました。

今年の丙午年は、エネルギーが陽気が発展するので

飛躍が期待できる。情熱と行動で道が切り開かれると

いわれます。この状況を維持し、吉凶変化に対処するためには、冷静な判断と用意周到、細やかな備えが肝心要とのことです。

J1昇格を果たした、V・ファアレン長崎にとりましても、

いよいよJ1の格上のチームとの一年間の攻防が始まります。

J1として船出する「チーム体制の構築と準備」にも

備えあれば憂いなしです。

昨年度、種田理事長のもとに、

「All Jaycees シン・大懇親会」が

開催されました。各席ともに、話が弾んでおりました。

大変ありがとうございました。

今年度、寺澤理事長は、「大ぼらを夢に 夢を現実に」を

スローガンとされました。夢が人生を作るともいわれます。

夢を共有して、若い人の感性で共鳴させて、社会に貢献できるように未来へチャレンジして下さい。

皆様の「DREAM COME TRUE」を祈念致します。

今年も宜しくお願い致します。

OB会会長 殿村 育生

理事役員挨拶

第74年度は、スローガン「大ぼらを夢に 夢を現実に」を掲げ、27名それぞれが責任と誇りを持ち、1年間取り組んで参ります。皆様どうぞ宜しくお願い致します。



直前理事長

種田 和彦 先輩

寺の鐘の音に耳を澄まし、第74年度が始まりました。澤の流れの如く、立場や考えの違いを認め合い、チーム一丸となることは、どんな困難も乗り越える力となります。出会いと学びを大切に、仲間と夢を分かち合いながら、航路が示す希望に溢れる、明るい未来を私達自身の手で現実へと繋げて参りましょう。1年間の延長戦となりますが、メンバーへ多くのことを残していきたいと思います!!第74年度もどうぞ宜しくお願い致します。

地域室担当副理事長

土井 あかり 君

第74年度地域室担当副理事長の職をお預かりします土井あかりです。私は第66年度に入会したので8年目になります。これまでたくさんの方のアドバイスを先輩方に教えていただきました。それらを継承するとともに、寺澤理事長の想いを実現すべく副理事長とは何か?を常に自分に問いかけながら行動していきます。今年度地域室では、一人でも多くの方が「長崎に住み暮らしたい」と思えるまちになるよう活動していきます。長崎の課題である転出超過が続いている現状などを調査研究した上で、改善し、結果を残せる1年にします。どうぞ宜しくお願い致します。

人財室担当副理事長

桑原 亮 君

副理事長の職をお預かりしました桑原亮です。歴浅ながら毎年「はいかイエスか喜んで」の精神で役職を経験させていただき、様々な修練を重ねながらここまで来ました。本年度は少しでも経験を伝えていけるよう意識しながら1年を過ごしたいと思います。人財室ではJAYCEEとして、そして青年経済人としての資質向上を目指して、担当例会を通じて会員の皆様に成長の機会を提供していく予定です。一人ひとりが「大ぼらを夢に」、そして「夢を現実に」変えていくリーダーとなっていけるよう、しっかりと準備して参ります。1年間宜しくお願い致します。

拡大室担当副理事長 当麻 葵君

今年度の会員拡大の目標が35名。拡大室が前に出て引っ張るだけでなく、各委員会としっかり連携し、情報や想いを共有しながら、声かけやフォローが自然に回る仕組みをつくりまします。拡大においてプレッシャーを感じる時もあるかもしれませんが、「一緒にやると楽しい」という雰囲気大切に、結果として拡大につながる、そんな拡大室を目指して、私も拡大して、拡大して、拡大して参ります。そして、新たに迎える仲間に対しても、丁寧にフォローし、JCの楽しさややりがいを実感できる環境づくりに取り組んでいきます。皆様、ご協力を宜しくお願いします。

会務室担当副理事長 西岡 英樹君

第74年度会務室担当副理事長をお預かりします、西岡です。本年度は、これまで理事役員として長崎JCを支えてきた主要メンバーが多数卒業する節目の一年となります。私自身も卒業予定者の一人として、これまでの長崎JCを通じて培ってきた経験や、先輩方から受け継いだ知識・想いを、次代を担う後輩達へ確実に託し、メンバーの育成に力を注いでいきます。会務室担当副理事長として、組織運営の基盤を支えながら、人材育成にも力を注ぎ、10年間のJC人生に悔いが残らぬように、ラスト1年を全力で活動して参ります。宜しくお願いします。

対外室担当副理事長 池田 裕介君

対外室担当副理事長の池田です。本年も宜しくお願いします。さて、執筆している段階ですが本会、地区の議案に血眼になって読み漁った結果、予定者段階である2025年度中には長崎コンファレンスを除く全ての対外事業の日程が確定する予定です。思い切ってこのスペースを使って日程場所を書き残したい気分です。一人でも多くのメンバーの皆様と各地を訪れ、学びを深めるとともに仲間との友情を育んで参ります。皆様くれぐれも予定の確保をお願いします。長尾室長、鳥巢委員長を叱咤激励して最高の対外事業を作り上げていくことを誓い申し上げます。



想伝室担当副理事長 前田 祐太朗 君

第74年度の想伝室担当副理事長の職をお預かりする前田です。想伝室では、長崎JCの様々な活動・運動に対して、どんな想いを持って取り組んでいるのかを伝えていきます。これまでに引き続きJCニュースの制作をはじめとした広報活動が担いとなりますが、特に、対外へ向けた広報活動に特色を持たせ、長崎JCへの興味関心を高める活動に努めたいと思います。身に余る大役ですが、先輩方が作り上げてきた長崎JCを多くの方に知っていただき、地域に必要な団体としての認知向上に向け、邁進して参ります。本年も宜しくお願いします。



専務理事 松本 考功 君

第74年度、専務理事という大役を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。時には周囲から「大ぼら」と笑われるような高い目標であっても、志を同じくする私達が集えば、必ず叶えるべき「夢」へと変わります。その夢を一つひとつ手繰り寄せ、確かな「現実」へと昇華させていく。そんな情熱溢れる組織でありたいと考えます。私は屋台骨として、理事長を盤石に支え、会員の皆様が遺憾なく力を発揮できる土壌を整えることに全力を注ぎます。皆様と共に実り多き1年を創り上げていければと思いますので、1年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



監事 小川 清貴 君

第74年度、監事の職をお預かりしました小川です。同期入会、同い年、寺澤理事長とともに「はいかYESか喜んで」を体現し、ここまでできました。JC歴も短く経験のなさがありますが、JCに対する熱い想いはメラメラです。この熱い想いを長崎JCや、皆様のために還元していきます!!また本年度はラストイヤー。自分のラインがなく寂しい1年になりそうな気がしてなりません。理事会後、例会後はそれぞれの委員会にお邪魔させていただきますので宜しくお願いします。



監事 大平 大樹 君

監事の職をお預かりすることになりました大平です。今年で11年目を迎え、卒業させていただきます。LOMでやらなければいけないことは後輩達へしっかり想いを紡いでいきます。恩送りできる最後の機会ですので、精一杯職務を全うし、監事としてやらなければいけないこと、判断しなければいけないことを見極め活動して参ります。多くの時間を後輩達と過ごし、まちのため、長崎JCのため考えていきます。後輩達の成長を楽しみにしながら1年間楽しんでいきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



地域室長

田中 隆徳君

地域室の田中です。本年度の地域室は、まち系委員会と青少年系委員会が、統合された委員会になります。今まで「これはまち？青少年？」と区切ることのない考えで行うことができるため、今まで以上に地域に必要とされる事業を行って参ります。室長として副理事長の考えを理解し、委員長へ落とし込みができるようにします。また、委員長が1年間で成長できるようサポートを行い、寄り添っていきます。最後に委員会メンバーが地域室で良かったと思えるよう委員長とともに委員会運営を行って参ります。



人財室長

溝上 雄斗君

私達はそれぞれの想いと覚悟を胸に、長崎JCに集っています。私自身、入会当初は右も左も分からず、ただ目の前の活動に参加するだけでした。しかし、地域課題と真剣に向き合い、仲間と切磋琢磨し語り合う中で、目的を持って行動し、機会を自ら掴み取ることが成長に繋がると実感しました。挑戦と学びの機会が誰にでも平等に用意されています。価値を一人ひとりが主体的に掴み取り、次代を切り拓く力へと変えていけるよう、人財室として挑戦と成長が循環する1年間で創り上げて参ります。



拡大室長

熊谷 将希君

拡大室では、長崎JCとして地域にリーダーを輩出し続けるために、仲間を迎えることに本気で向き合います。長崎JCは集まることが目的ではなく、学び、挑戦し、自ら行動するひとを地域に送り出す場です。そのために、会員一人ひとりが自分の言葉で長崎JCの魅力を伝え、仲間を誘う行動を積み重ねていきます。拡大は一部のひとがやるものではなく、全員で取り組むもの。やると決めたことはきちんとやる。その覚悟を大切にしながら、仲間とともに動き、成長し続ける1年にしていきます。



会務室長

永江 圭介君

会務室は、一人ひとりが主役として輝ける環境を整え、自己成長の機会を提供します。例会を軸として会員間の意識を共有・統一し、組織としての団結力を高めるとともに、会員及び対外の方々との交流の機会を提供して人脈形成を後押しすることで、将来的な地域経済の活性化へと繋がります。そして、会務室長として例会交流委員会の進むべき道筋を整え、本年度はJCラストイヤーとして悔いの残らぬよう、JC活動・運動に全力で取り組む所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。



対外室長

長尾 優輝君

対外室では、JCが有する全国規模・国際規模のスケールメリットを最大限に活かし、一般では得難い学びや成長の機会を積極的に提供して参ります。また、長崎から出向し各地で活躍する会員と密に連携し、情報共有や相互支援を通じて、その挑戦や活動を支援していきます。対外事業を通じて得られる多様な知見、学びや刺激を、会員一人ひとりの自己成長に繋げるとともに、LOM全体の新たな発想や運動の展開へと発展させられるよう尽力して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



想伝室長

深堀 和政君

想伝室長の職をお預かりします、深堀和政です。想伝室は、JC活動・運動に込められた目的や想いを、温度感をもって発信していきます。「想いを届け、共感を生む広報」を軸に、前田副理事長、横内委員長と連携し、積極的かつ丁寧に発信し、長崎JCの価値と魅力を、より多くの方々に知っていただき、未来へと繋げていきます。そして、日本JCへの出向においても、広報に携わらせていただきます。その学びと経験を持ち帰り、長崎JCに活かせるよう全力で頑張りますので、宜しくお願い致します。



総務室長

佐藤 峻君

皆様、日々のJC活動・運動を通して自己成長を実感されているでしょうか。私自身、これまで多くの挑戦を重ねる中で、確かな成長を感じております。それは決して一人の力によるものではなく、総務委員会の皆様が常に下支えし、安心して挑戦できる環境を整えて下さったからこそ得られた成果です。次年度は、これまで支えていただき成長できた分、今度は自分が総務室の役職を通じて、仲間一人ひとりの挑戦と成長を後押しできる存在となれるよう、責任と覚悟を持って職務を全うして参ります。



常務理事

野口 将司君

第74年度、常務理事の職をお預かりする、野口将司です。今年1年の私の役割は、専務理事と事務局をサポートし、理事長が掲げる熱いビジョンをメンバーにしっかりと繋ぐ「パイプ役」になることだと思っています。組織が円滑に、そして何より活気をもって動けるよう、フットワーク軽く、全力でサポートしていきます。伝統ある長崎JCの重みを大切にしながらも、メンバー全員が「JC楽しい!」と思えるような、風通しの良い組織づくりに邁進します。1年間、情熱を持って楽しみながら駆け抜けます!



地域活性化委員長 殿村 恒司君

地域活性化委員長職をお預かり致します殿村恒司です。私は、「長崎の未来を育てるのは、私達だ」を基本方針とし、長崎市の課題の一つである人口減少について着目しました。長崎の将来を担う若い世代が「長崎で暮らしていきたい」と思えるように地域の誇れる価値や魅力を伝える活動・運動を実施します。長崎JCが、70年以上続けてきた地域活性化に向けての活動・運動を紡ぐために、「大ばらを夢に 夢を現実に」のスローガンのもとに1年間を全力で駆け抜けます！



人財育成委員長 森 大地 君

第74年度人財育成委員会は、次代を切り拓くリーダーの育成をテーマに掲げ、会員一人ひとりが学びに価値を見出し、自ら行動へと繋げる1年にします。目標を設定し、その道のりを日々の行動に具体化し、継続して取り組むことで成長を実感できる機会を創出して参ります。更に、仲間との対話や実践をとおして課題の本質を捉え、互いの強みを生かしながら挑戦する意識を醸成します。志と覚悟をもって歩みを進め、未来を切り拓く人財の育成に尽力して参ります。



会員拡大委員長 本間 圭亮君

会員拡大委員会は、「目標を現実に、全力拡大」を基本方針に掲げ、長崎JCの未来を切り拓く仲間づくりに本気で取り組みます。会員拡大は一部の会員だけが担うものではなく、全会員が主体となって取り組む運動です。想いを共有し行動を重ねることで、志を同じくする仲間とともに学び、成長し、長崎のまちに新たな価値を生み出す組織を創造します。次代を担うリーダーの輩出に向け、拡大目標35名必達を掲げ、全会員一丸となって成果へと繋げて参ります。



例会交流委員長 田川 雄大君

例会交流委員長の職をお預かりします、田川雄大と申します。この一年、全会員がJAYCEEの本質を体現できる例会や交流事業を展開していきます。毎月の例会の参加を『義務』を超えて『当然のこと』として定着させるとともに、全会員が活動・運動を円滑に進め、多くの方と協力関係を結べる交流事業を構築していきます。私自身、例会か交流の委員長を志していたため、念願の職務に全身全霊で臨み、1年後に達成感と充実感で満たされるよう尽力します。



渉外委員長

鳥巢 峻輝君

渉外委員会委員長の鳥巢です。渉外委員会では、一人でも多くの方に対外事業へ参加していただき、「参加して良かった」と感じていただけるよう、丁寧な情報発信と事前準備に力を入れて取り組んで参ります。また、出向者の皆様が安心して活動できるよう、委員会として全力でサポートして参ります。本年度は、日本国内で国際会議が開催される貴重な1年です。この機会に、長崎JCがグローバルな組織であることを実感し、ともに視野を広げていきましょう。



広報委員長

横内 裕太君

広報委員長という大役をお預かりさせていただきます、横内裕太と申します。入会から6年目を迎え、理事の背中に憧れ活動して参りましたが、その立場に立たせていただくことは、身の引き締まる思いです。広報委員会では、長崎JCの活動・運動に込められた想いや意義を正しく、かつ魅力的に伝えることを使命とし、単なる情報発信ではなく、正会員一人ひとりに共感を得られる広報を目指します。委員会メンバーとともに挑戦を恐れず、全力で1年間取り組んで参ります。



総務委員長

田川 昭彦君

新年あけましておめでとうございます。総務委員長の田川昭彦です。総務委員会は、縁の下の力持ちと例えられることの多い委員会ですが、第74年度はアグレッシブに存在感を発揮し、会員の皆様が活動・運動を円滑に行えるよう日々の活動に取り組んで参ります。既に予定者段階から、委員会メンバーが一丸となりサポート体制を構築してきましたが、更に磨きをかけ、委員会メンバーにとっても学びのある委員会運営を意識し、2026年を走り抜けて参ります。



事務局長

中村 恭輔君

第74年度事務局長の職をお預かりさせていただきます中村恭輔と申します。JC入会5年目となり、理事という大役をお任せいただいたことは大変光栄です。この成長の機会を最大限に活かし、1年後には成長したといってもらえるよう努めて参ります。公務をはじめ各種対外事業や諸団体の依頼事項などスケジュールを把握し、理事長が安心して公務を遂行できるよう完璧なサポートに尽力します。明るく前向きに活動していきますので、ご指導宜しくお願い致します。



出向者紹介

公益社団法人 日本青年会議所
国家グループ 主権者意識向上委員会
副委員長 濱崎 賢司朗 君

1.出向者として、今の心境は？

ほぼ初めてに近い形での出向になるので、正直なところ不安もありますが、それ以上に楽しみな気持ちが大きいです。長崎以外のLOMの皆様と交流できることはとても新鮮で、新しい考え方や価値観に触れられる貴重な機会だと感じています。

2.現在行っていることは？

第5小委員会として担っている役割が大きく3つあるため、円滑に活動・運動を進められるよう、現在は全体の流れを整理し、計画を行っています。また、委員会メンバーとの交流を大切にしながら、各地区との連携強化にも取り組んでいます。

3.委員会、議会の担い何ですか？

国民一人ひとりの主権者意識を向上させることを目的としています。その中で、第5小委員会としての担いは以下のとおりです。

- ・九州・沖縄地区の運営及びサポート、並びに政策甲子園における目標エントリー数達成に向けた支援
- ・政策甲子園の協賛募集（目標：100万円）
- ・サマーコンファレンスにおけるセミナーの企画・運営担当

以上の担いを通じて、各地区との連携を図りながら、主権者意識向上に繋がる取組みを推進していきます。

4.出向の意気込み

今回、ほぼ初出向に近い形で副委員長という役をお預かりしました。右も左も分からないことばかりではありますが、この機会を成長の場と捉え、任された役割に対しては全力でやり切りたいと考えています。多くの方にご指導をいただきながら、一つひとつ学び、委員会・議会に少しでも貢献できるよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



出向者紹介

公益社団法人 日本青年会議所
九州地区 長崎ブロック協議会
地域グループ 長崎の活性化委員会
委員長 北島 秀基 君

1.出向者として、今の心境は？

長崎JCでも理事の経験がないまま委員長の職をお受けすることになり、当初は不安でいっぱいでしたが、副会長を始め他LOMの仲間がで、前向きに楽しんでいます！

2.現在行っていることは？

年間の事業フレームやサマリーを年内に作成し、年明けからは6月に諫早にて行われる長崎コンファレンスの議案作成が始まります。他LOMのフォロワーメンバーも確定し、小長井のかき焼きで初顔合わせ兼家族交流会としてメンバー間の絆を深める予定です。

3.委員会、議会の担い何ですか？

主に人財育成事業の開催がメインとなります。6月の長崎コンファレンスではグローバルな視点で経済発展できる人財育成のフォーラムを開催し、別で部活動の地域展開に関わる事業の開催を予定しています。

4.出向の意気込み

長崎ブロック協議会は総合連絡調整機関として、長崎県内各LOMのためになる活動を行っています。長崎JCメンバーにも必ず学びになり、ワクワクする事業を展開していきます。長崎JCからも多数の参画をお待ちしております。そして24名の委員会メンバーとともに成長し、我々がLOMに還元できる人財となります！



出向者紹介

公益社団法人 日本青年会議所
九州地区 長崎ブロック協議会
LOM支援グループ アカデミック委員会
委員長 長野 雄太 君

1.出向者として、今の心境は？

LOMで役職を受けたことがなかったため、不安な部分もあります。しかし、新たな挑戦と出会いにワクワクしています！

2.現在行っていることは？

会員拡大セミナーやJCプログラムの実施に向けた議案の作成に奮闘しています。また、1月中には委員会メンバーとの初顔合わせも計画しています。

3.委員会、議会の担い何ですか？

長崎ブロック協議会各LOMの、入会3年未満のアカデミーメンバーを中心としたメンバーの人財育成。そして、会員拡大に向けた知識や手法を学ぶセミナーの実施です。

4.出向の意気込み

長崎ブロック協議会各LOMのメンバーが、JCや社会で輝いていく人財に成長することを目指します！そして、メンバーの皆さんが、JCの魅力を説明できるようになれば、賛同する新たなメンバーの拡大に繋がると考えています。

アカデミック委員会の各事業にご参加お願い致します！



出向者紹介

公益社団法人 日本青年会議所
長崎ブロック協議会
組織運営グループ 財政規則審査局
局長 新垣 充生 君

1.出向者として、今の心境は？

長崎ブロック協議会役員としての出向は2回目です。1回目の経験を活かして、攻めと守りのバランスを意識しながら、各委員長をサポートし、長崎コンファレンス2026 in 諫早の成功に貢献していきます。

2.現在行っていることは？

2026年度に長崎ブロック協議会が行う事業全体の予算案を作成しています。各委員会がどのくらいの費用で何を行うのか、全体のお金の流れを把握する役割です。

3.委員会、議会の担い何ですか？

財政規則審査局は、長崎ブロック協議会の「お金の番人」です。各委員会が事業を行う際の予算が適切かをチェックしたり、事業後の決算を確認したりします。また、議案の提出期限を管理し、会議がスムーズに進むようサポートする役割も担っています。

4.出向の意気込み

委員長達が安心して事業構築に専念できるよう、財政面からしっかりサポートし、長崎ブロック協議会の運動を支える縁の下の力持ちとして頑張ります。

第73年度 卒業式及び卒業生を送る夕べ



去る2025年12月19日(金)、ホテルニュー長崎にて「第73年度 卒業式及び 卒業生を送る夕べ」が開催されました。本年度は8名の「御殿様」「御姫様」がご卒業を迎えられました。卒業式では、卒業生一人ひとりに卒業証書が授与されました。会員からの送辞に続き、第73年度スローガン「報恩謝徳～敬意と感謝を胸に～」に込められた想いを表現



すべく、「尊敬」の花言葉を持つ白いバラと「感謝」を表すピンクのバラの胸花が贈呈されました。卒業生を代表し、四元 聡子君より、これまでの感謝の思いが込められた答辞をいただきました。また、卒業生からの記念品として、メディアボードが寄贈されました。

卒業式後に開催された「卒業生を送る夕べ」では、「摩訶不思議アドベンチャー」の音楽に合わせて卒業生が入場されました。祝宴では各委員長・事務局長による、卒業生のご卒業を祝して龍踊が披露されました。最後に卒業生を代表して関 勝太郎君よりご挨拶があり、全員で「若い我等」を斉唱し、心をつつにして締めくくりました。

卒業生の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。今後のご活躍とご健勝を、現役会員一同、心よりお祈り申し上げます。







ご卒業、誠におめでとうございます！



2026年度神戸JC・長崎JC定例会議



去る2025年11月29日（土）、THE GLOBAL VIEW 長崎にて、2026年度 神戸JC・長崎JC定例会議懇親会が開催されました。友好盟約60周年記念事業を経て、3年ぶりとなった長崎での開催には、神戸より73名のメンバーにお越しいただきました。本年は親睦を深めた上で会議に臨むべく、例年とは趣向を変え、会議に先立っての開催となりました。

冒頭、長崎JC 寺澤理事長より、2026年度全国大会の主管を務める神戸JCへの全力の支援を表明するとともに、この交流が翌日の定例会議、そして両LOMの絆を深める契機となるよう期待の言葉が贈られました。続いて、神戸JC 久保田副理事長より長年の友好関係への謝辞が述べられた後、上根直前理事長による乾杯が行われました。熱い交流を「Dead or Alive」と表現しつつ、明日への英気を養う激励がなされ、会場は盛り上がりしました。

世代や距離を超えた強固な繋がりを再確認し、62歩目となる未来へ向けて、両LOMの絆を一層深める貴重な一夜となりました。



マッチング委員会同士で
交流を深めました。



アトラクション



鳥巢委員長
お疲れ様でした。

2026年度神戸JC・長崎JC定例会議



去る2025年11月30日(日)、長崎県勤労福祉会館2階講堂にて、2026年度神戸JC・長崎JC定例会議を開催致しました。今回は、2日目に定例会議を開催することとなり、例年と違ったスケジュールとなりましたが、総勢145名の会員が一同に会しました。

定例会議では、第73年度の事業報告や第74年度のスローガン、基本方針についてそれぞれの直前理事長、理事長より発表があり、真剣な眼差しで耳を傾ける会員の姿が印象的でした。また、マッチング委員会ごとにグループを組み、お互いの地域を盛り上げる共同事業の構築をテーマに、各テーブルで活発な議論が交わされ、事業発表も行われました。会員同士の交流が深まり、相互理解と絆を深める会となりました。



神戸JC 直前理事長
上根 彩 先輩



白熱したグループディスカッション



グループディスカッションの講評をする理事長



神戸JC 第68代理事長
松井 隆昌 君

総務委員会 田川 昭彦 君

JCニュースに関するアンケートへのご案内

JCニュース新春号をご覧いただきありがとうございました。

今後の参考のために、宜しければアンケートの回答にご協力お願い致します。



SNSでも長崎JCの情報を発信中！

INSTAGRAM



FACEBOOK



X



第74年度理事・役員紹介動画を

YouTube

で配信中です。



フォロー・登録お願い致します！